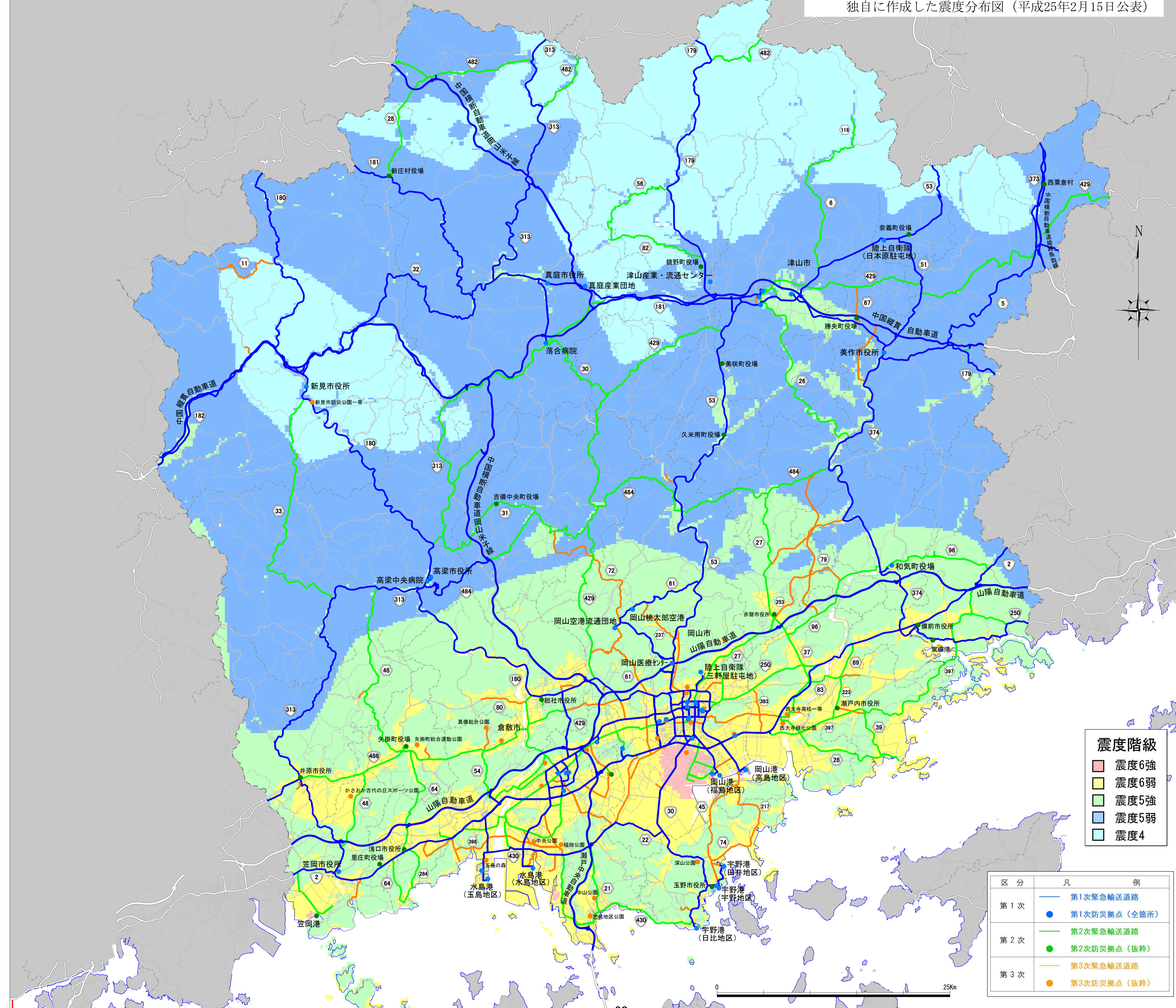


南海トラフ巨大地震による震度分布図【岡山県想定】

(注) 平成24年8月末に国が公表したデータを基に岡山県が独自に作成した震度分布図 (平成25年2月15日公表)

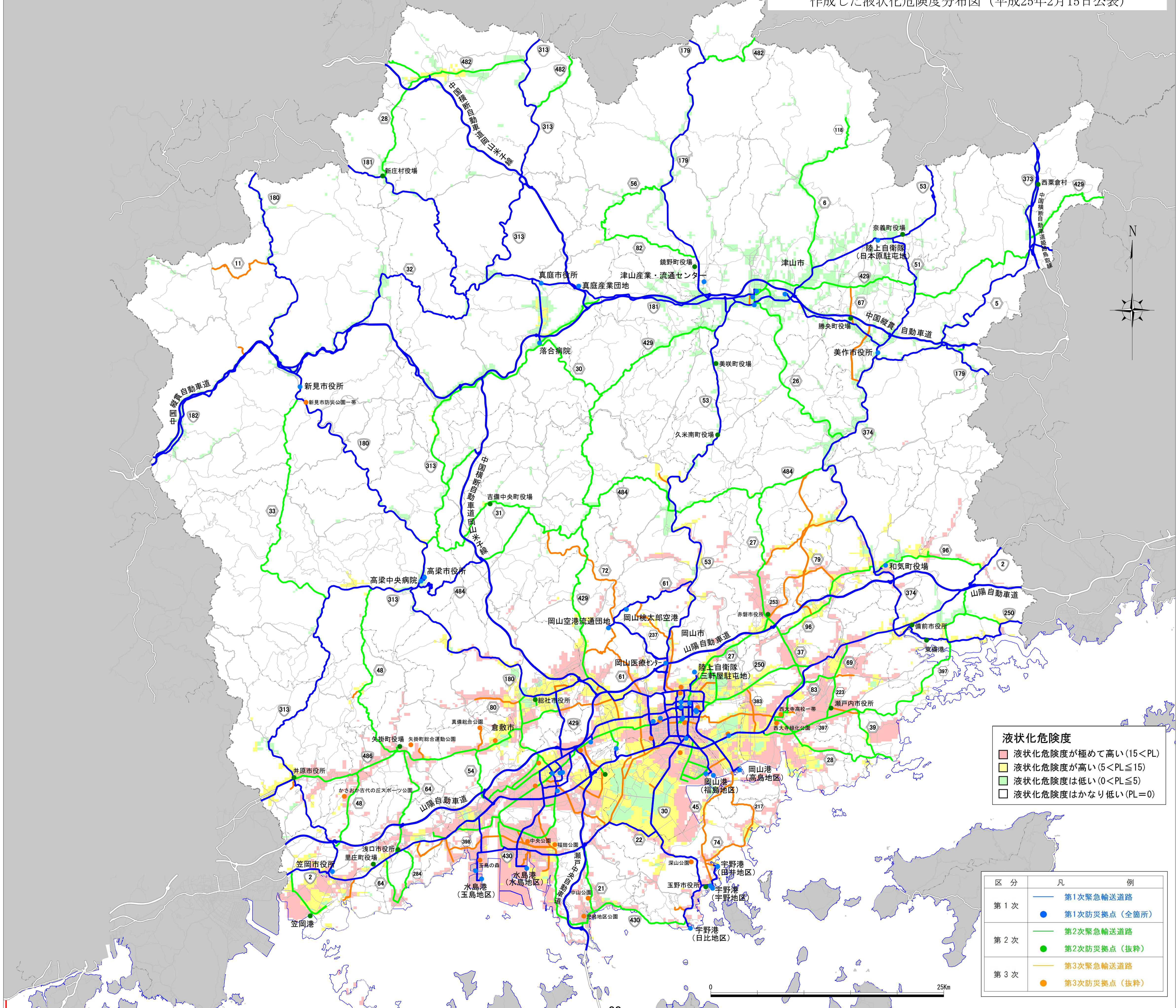


■	震度6強
■	震度6弱
■	震度5強
■	震度5弱
■	震度4

区分	凡	例
第1次	—	第1次緊急輸送道路
	●	第1次防災拠点 (全箇所)
第2次	—	第2次緊急輸送道路
	●	第2次防災拠点 (抜粋)
第3次	—	第3次緊急輸送道路
	●	第3次防災拠点 (抜粋)

南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【岡山県想定】

(注) 平成24年8月末に国が公表したデータを基に岡山県が独自に作成した液状化危険度分布図 (平成25年2月15日公表)



液状化危険度

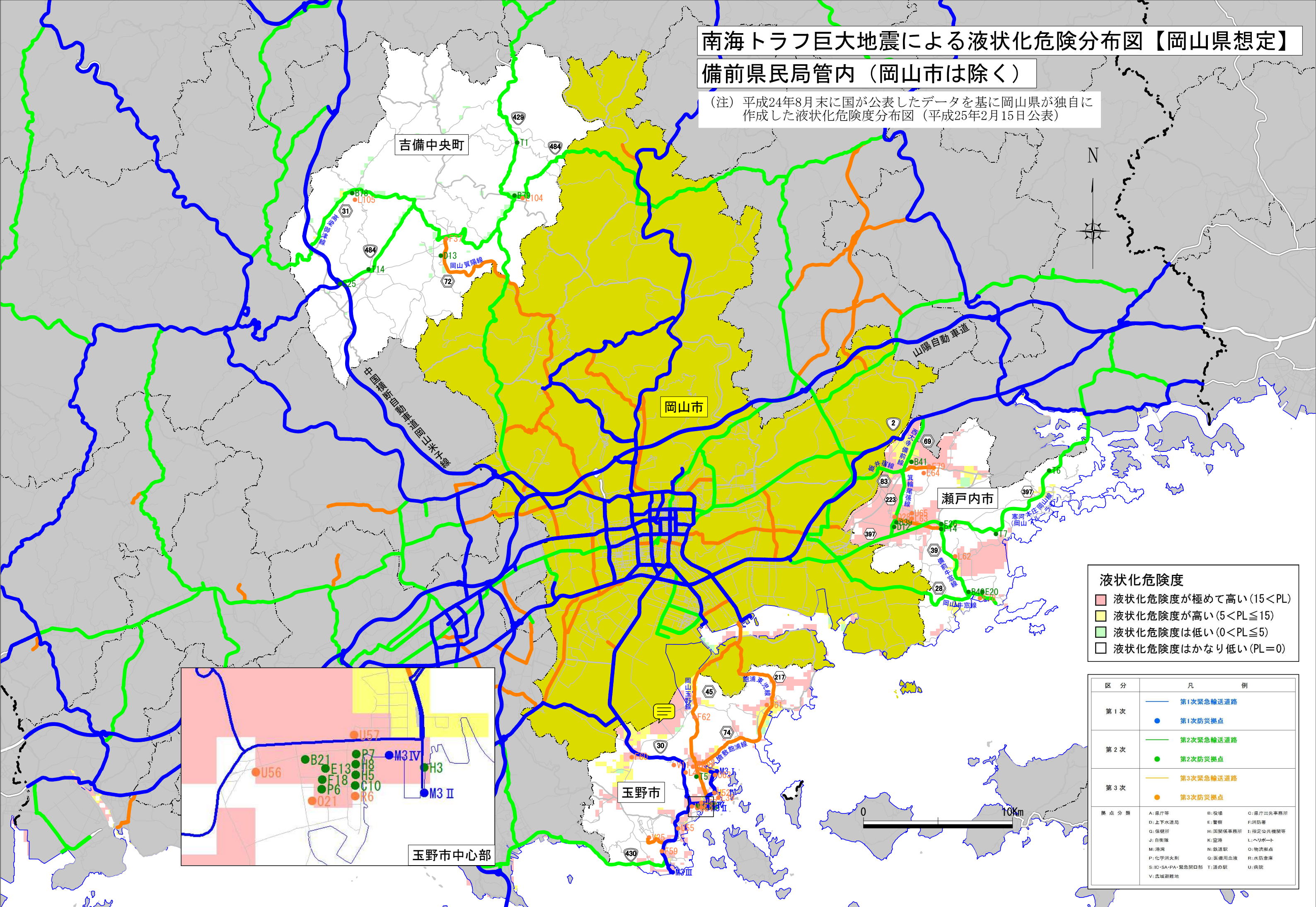
- 液状化危険度が極めて高い(15 < PL)
- 液状化危険度が高い(5 < PL ≤ 15)
- 液状化危険度は低い(0 < PL ≤ 5)
- 液状化危険度はかなり低い(PL = 0)

区分	凡	例
第1次	—	第1次緊急輸送道路
	●	第1次防災拠点 (全箇所)
第2次	—	第2次緊急輸送道路
	●	第2次防災拠点 (抜粋)
第3次	—	第3次緊急輸送道路
	●	第3次防災拠点 (抜粋)

南海トラフ巨大地震による液状化危険分布図【岡山県想定】

備前県民局管内（岡山市は除く）

（注）平成24年8月末に国が公表したデータを基に岡山県が独自に作成した液状化危険度分布図（平成25年2月15日公表）



液状化危険度

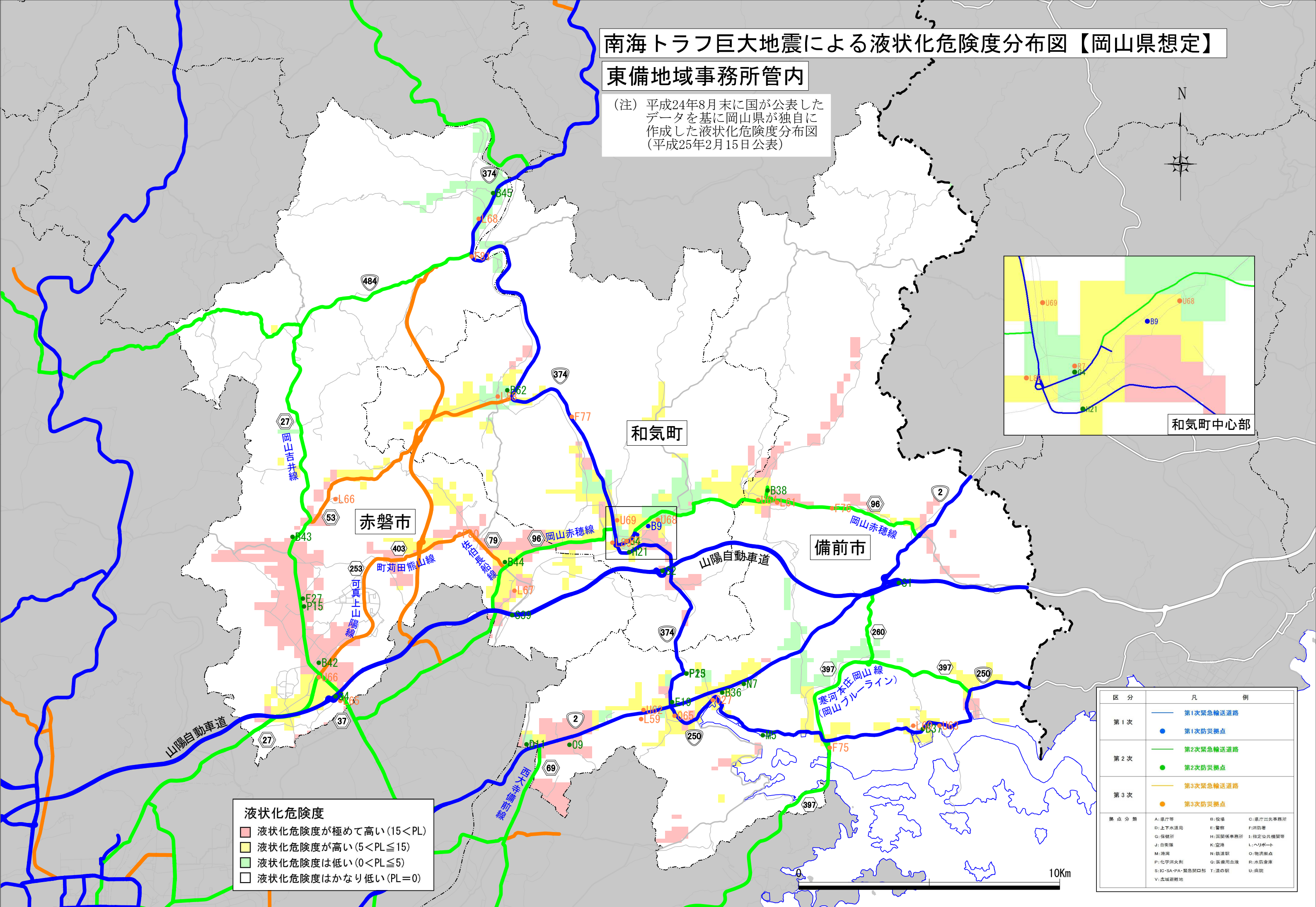
- 液状化危険度が極めて高い ($15 < PL$)
- 液状化危険度が高い ($5 < PL \leq 15$)
- 液状化危険度は低い ($0 < PL \leq 5$)
- 液状化危険度はかなり低い ($PL = 0$)

区分	凡例																								
第1次	— 第1次緊急輸送道路																								
	● 第1次防災拠点																								
第2次	— 第2次緊急輸送道路																								
	● 第2次防災拠点																								
第3次	— 第3次緊急輸送道路																								
	● 第3次防災拠点																								
拠点名類	<table border="0"> <tr> <td>A: 県庁等</td> <td>B: 役場</td> <td>C: 県庁出先事務所</td> </tr> <tr> <td>D: 上下水道局</td> <td>E: 警察</td> <td>F: 消防署</td> </tr> <tr> <td>G: 保健所</td> <td>H: 国関係事務所</td> <td>I: 指定公共機関等</td> </tr> <tr> <td>J: 自衛隊</td> <td>K: 空港</td> <td>L: ヘルポート</td> </tr> <tr> <td>M: 港湾</td> <td>N: 鉄道駅</td> <td>O: 物流拠点</td> </tr> <tr> <td>P: 化学用火災</td> <td>Q: 医療用血液</td> <td>R: 水防倉庫</td> </tr> <tr> <td>S: IC-SA-PA-緊急開口部</td> <td>T: 道の駅</td> <td>U: 病院</td> </tr> <tr> <td>V: 広域避難地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	A: 県庁等	B: 役場	C: 県庁出先事務所	D: 上下水道局	E: 警察	F: 消防署	G: 保健所	H: 国関係事務所	I: 指定公共機関等	J: 自衛隊	K: 空港	L: ヘルポート	M: 港湾	N: 鉄道駅	O: 物流拠点	P: 化学用火災	Q: 医療用血液	R: 水防倉庫	S: IC-SA-PA-緊急開口部	T: 道の駅	U: 病院	V: 広域避難地		
A: 県庁等	B: 役場	C: 県庁出先事務所																							
D: 上下水道局	E: 警察	F: 消防署																							
G: 保健所	H: 国関係事務所	I: 指定公共機関等																							
J: 自衛隊	K: 空港	L: ヘルポート																							
M: 港湾	N: 鉄道駅	O: 物流拠点																							
P: 化学用火災	Q: 医療用血液	R: 水防倉庫																							
S: IC-SA-PA-緊急開口部	T: 道の駅	U: 病院																							
V: 広域避難地																									

南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【岡山県想定】

東備地域事務所管内

(注) 平成24年8月末に国が公表したデータを基に岡山県が独自に作成した液状化危険度分布図(平成25年2月15日公表)



液状化危険度

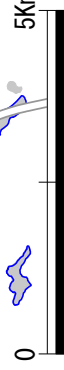
- 液状化危険度が極めて高い(15 < PL)
- 液状化危険度が高い(5 < PL ≤ 15)
- 液状化危険度は低い(0 < PL ≤ 5)
- 液状化危険度はかなり低い(PL = 0)

区分	凡例
第1次	第1次緊急輸送道路
	第1次防災拠点
第2次	第2次緊急輸送道路
	第2次防災拠点
第3次	第3次緊急輸送道路
	第3次防災拠点
拠点分類	A: 県庁等 B: 役場 C: 県庁出先事務所 D: 上下水道局 E: 警察 F: 消防署 G: 保健所 H: 国関係事務所 I: 指定公共機関等 J: 自衛隊 K: 空港 L: ~Jルート M: 港湾 N: 鉄道駅 O: 物流拠点 P: 化学消防火列 Q: 医療用血液 R: 水防倉庫 S: IO・SA・PA・緊急開口部 T: 道の駅 U: 病院 V: 広域避難地

南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【岡山県想定】

備中県民局管内

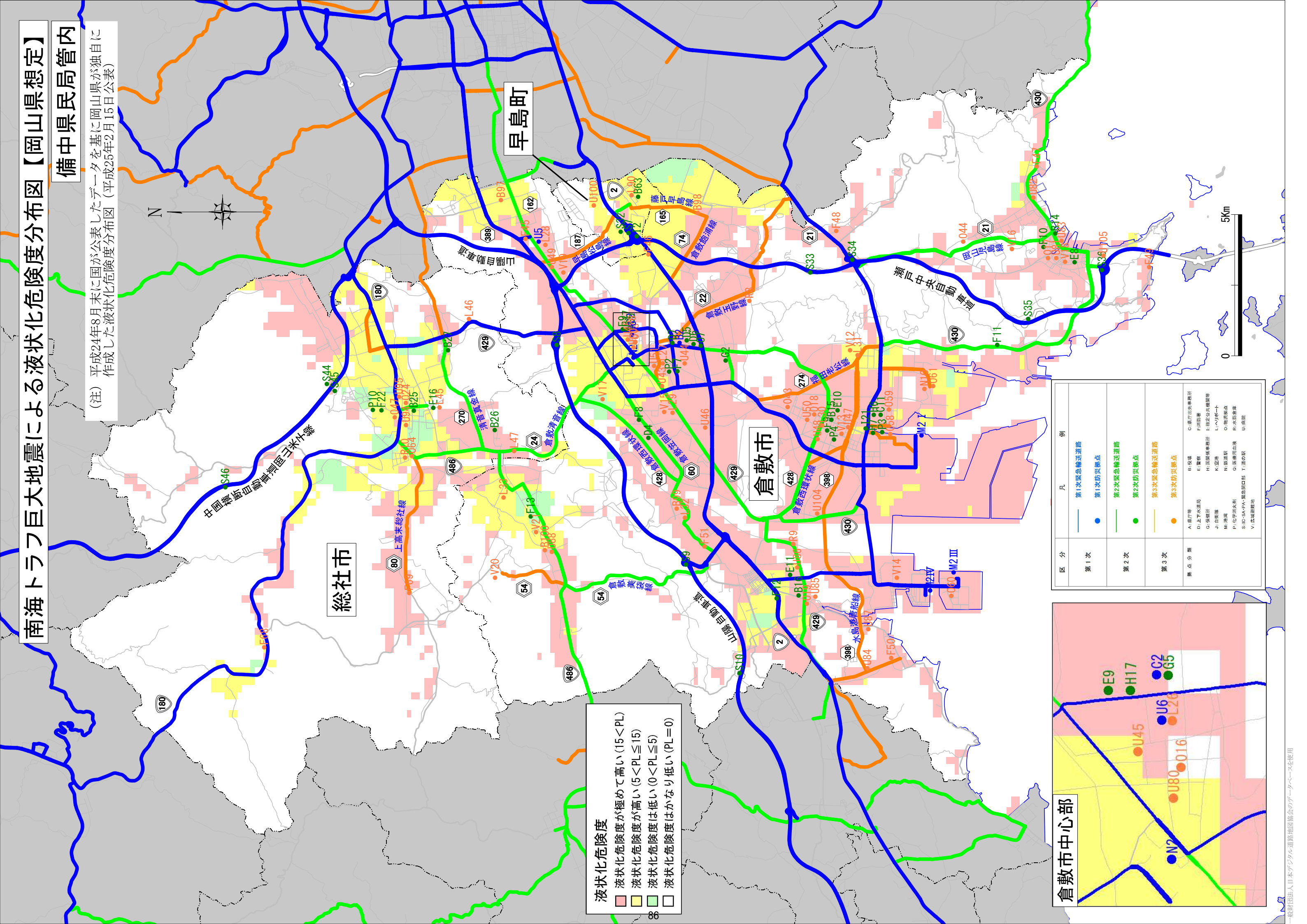
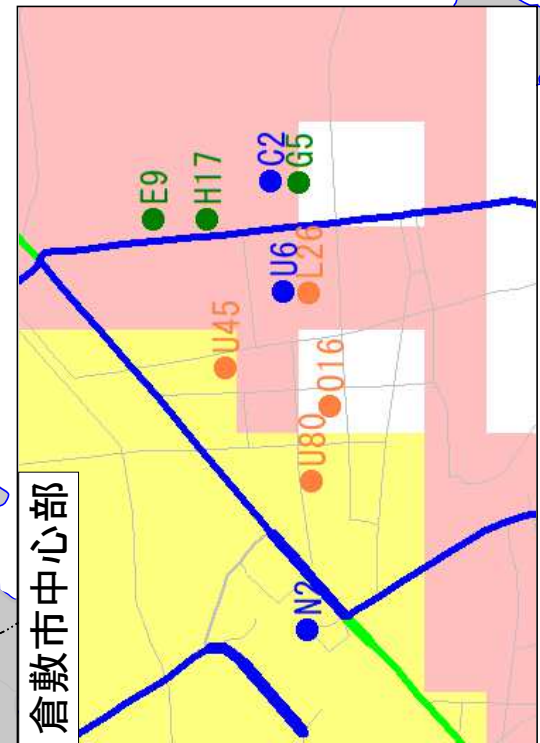
(注) 平成24年8月末に国が公表したデータを基に岡山県が独自に作成した液状化危険度分布図（平成25年2月15日公表）



液状化危険度	
	液状化危険度が極めて高い(15<PL)
	液状化危険度が高い(5<PL≤15)
	液状化危険度は低い(0<PL≤5)
	液状化危険度はかなり低い(PL=0)

区分	凡例
第1次	第1次緊急輸送道路 第1次防災拠点
第2次	第2次緊急輸送道路 第2次防災拠点
第3次	第3次緊急輸送道路 第3次防災拠点

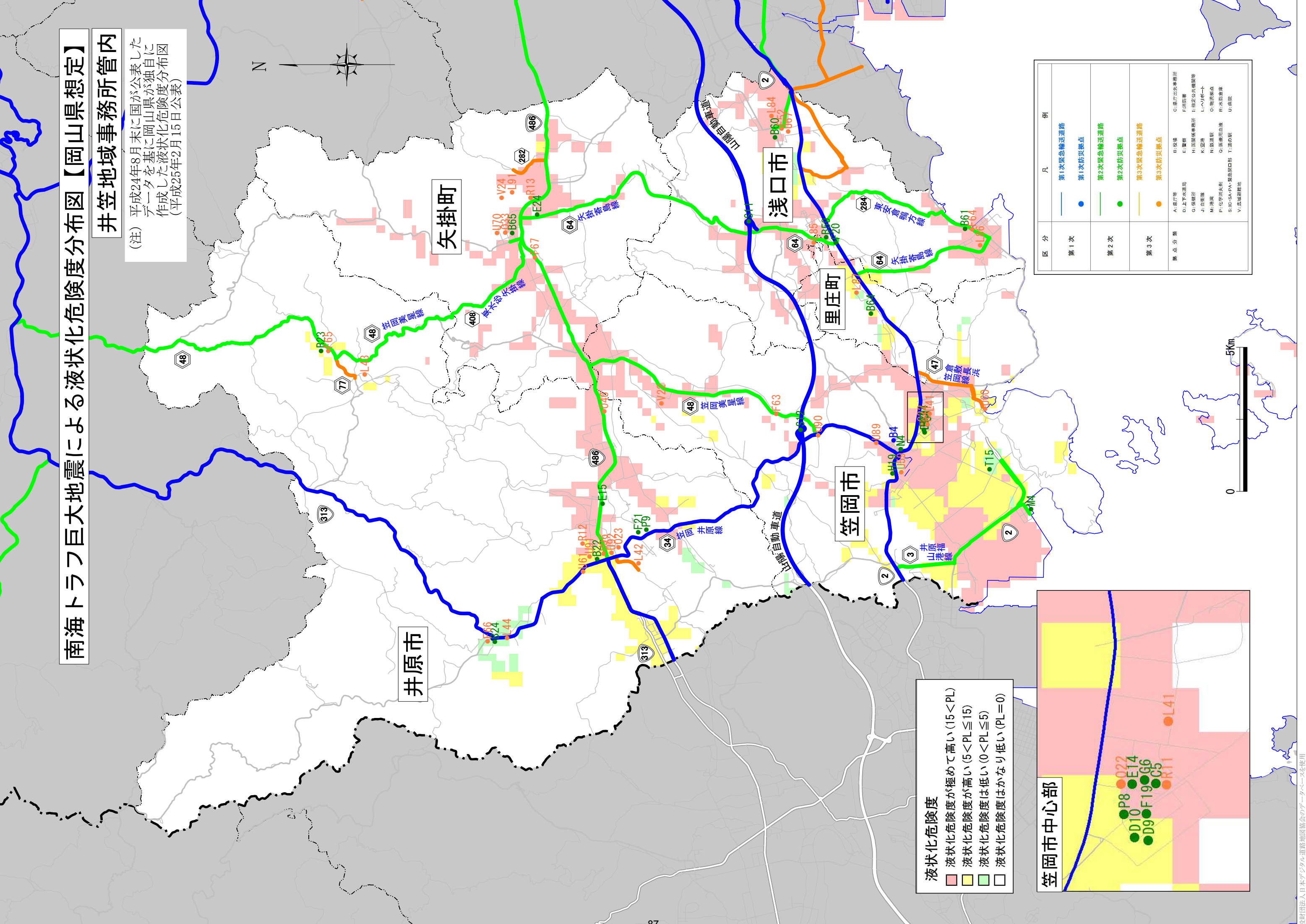
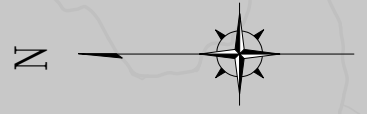
拠点分類	例	
A: 銀行等	B: 診療所	C: 発行・出張事務所
D: 上下水道局	E: 警察	F: 消防署
G: 保健所	H: 国庫・国庫事務所	I: 指定公共機関等
J: 自衛隊	K: 空港	L: レジャー
M: 港灣	N: 駅・通駅	O: 物資拠点
P: 化学用火災	Q: 医療用品店	R: 水防倉庫
S: IC-S&PA*	T: 緊急出口	U: 消防署
V: 広域避難地		



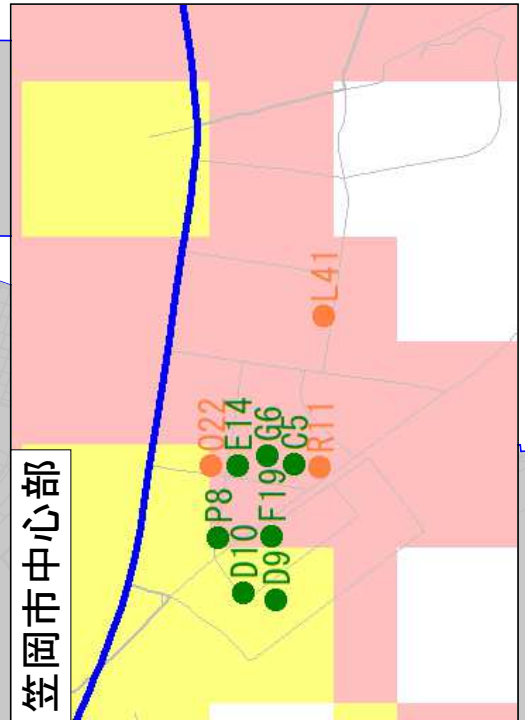
南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【岡山県想定】

井笠地域事務所管内

(注) 平成24年8月末に国が公表したデータをもとに岡山県が独自に作成した液状化危険度分布図
(平成25年2月15日公表)



液状化危険度
 液状化危険度が極めて高い (15 < PL)
 液状化危険度が高い (5 < PL ≤ 15)
 液状化危険度は低い (0 < PL ≤ 5)
 液状化危険度はかなり低い (PL = 0)



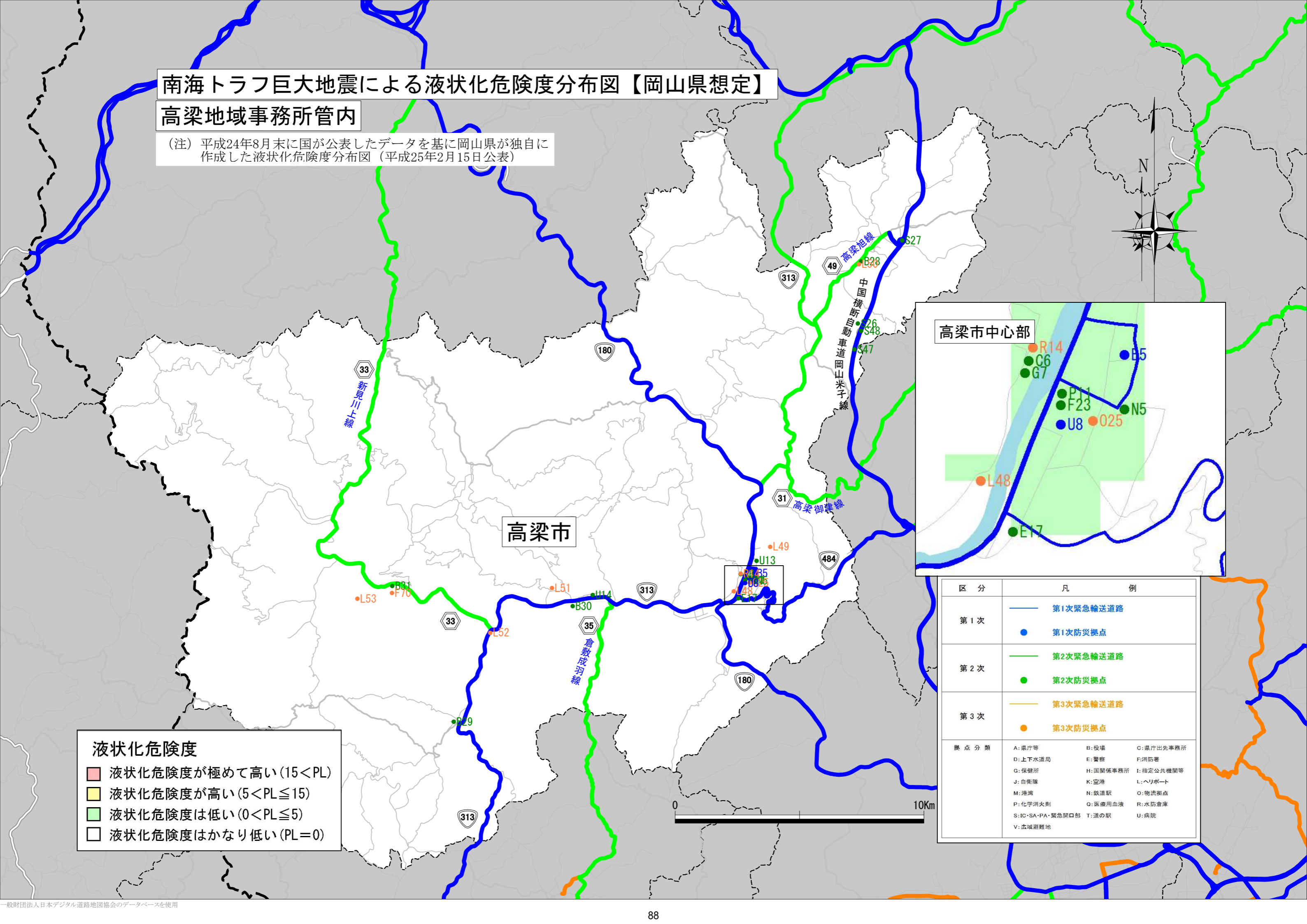
区分	凡例
第1次	第1次緊急輸送道路
	第1次防災拠点
第2次	第2次緊急輸送道路
	第2次防災拠点
第3次	第3次緊急輸送道路
	第3次防災拠点
拠点分類	A: 飛行場 B: 港湾 C: 飛行場出入事務所 D: 上下水道局 E: 警察 F: 消防署 G: 保健所 H: 消防団事務所 I: 指定公共機関等 J: 自動車 K: 空港 L: ヘリポート M: 港湾 N: 鉄道駅 O: 防災拠点 P: 化学用水利 Q: 医療用血液 R: 水防専用 S: IC-SA-PA・緊急出口部 T: 道の駅 U: 病院 V: 広域避難地

0 5Km

南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【岡山県想定】

高梁地域事務所管内

(注) 平成24年8月末に国が公表したデータを基に岡山県が独自に作成した液状化危険度分布図(平成25年2月15日公表)



	液状化危険度が極めて高い ($15 < PL$)
	液状化危険度が高い ($5 < PL \leq 15$)
	液状化危険度は低い ($0 < PL \leq 5$)
	液状化危険度はかなり低い ($PL = 0$)

区分	凡例																								
第1次	— 第1次緊急輸送道路																								
	● 第1次防災拠点																								
第2次	— 第2次緊急輸送道路																								
	● 第2次防災拠点																								
第3次	— 第3次緊急輸送道路																								
	● 第3次防災拠点																								
拠点分類	<table border="0"> <tr> <td>A: 県庁等</td> <td>B: 役場</td> <td>C: 県庁出先事務所</td> </tr> <tr> <td>D: 上下水道局</td> <td>E: 警察</td> <td>F: 消防署</td> </tr> <tr> <td>G: 保健所</td> <td>H: 国関係事務所</td> <td>I: 指定公共機関等</td> </tr> <tr> <td>J: 自衛隊</td> <td>K: 空港</td> <td>L: ヘリポート</td> </tr> <tr> <td>M: 港湾</td> <td>N: 鉄道駅</td> <td>O: 物流拠点</td> </tr> <tr> <td>P: 化学消火剤</td> <td>Q: 医療用血液</td> <td>R: 水防倉庫</td> </tr> <tr> <td>S: IC・SA・PA・緊急開口部</td> <td>T: 道の駅</td> <td>U: 病院</td> </tr> <tr> <td>V: 広域避難地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	A: 県庁等	B: 役場	C: 県庁出先事務所	D: 上下水道局	E: 警察	F: 消防署	G: 保健所	H: 国関係事務所	I: 指定公共機関等	J: 自衛隊	K: 空港	L: ヘリポート	M: 港湾	N: 鉄道駅	O: 物流拠点	P: 化学消火剤	Q: 医療用血液	R: 水防倉庫	S: IC・SA・PA・緊急開口部	T: 道の駅	U: 病院	V: 広域避難地		
A: 県庁等	B: 役場	C: 県庁出先事務所																							
D: 上下水道局	E: 警察	F: 消防署																							
G: 保健所	H: 国関係事務所	I: 指定公共機関等																							
J: 自衛隊	K: 空港	L: ヘリポート																							
M: 港湾	N: 鉄道駅	O: 物流拠点																							
P: 化学消火剤	Q: 医療用血液	R: 水防倉庫																							
S: IC・SA・PA・緊急開口部	T: 道の駅	U: 病院																							
V: 広域避難地																									

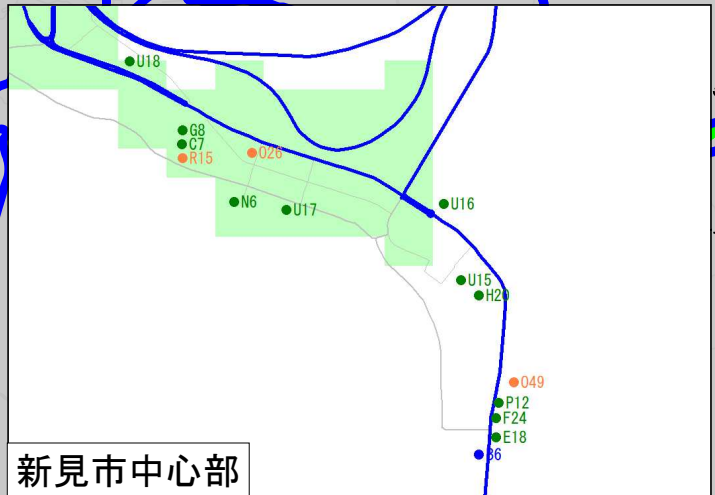
南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【岡山県想定】

新見地域事務所管内

(注) 平成24年8月末に国が公表したデータを基に岡山県が独自に作成した液状化危険度分布図 (平成25年2月15日公表)

液状化危険度

液状化危険度が極めて高い ($15 < PL$)
液状化危険度が高い ($5 < PL \leq 15$)
液状化危険度は低い ($0 < PL \leq 5$)
液状化危険度はかなり低い ($PL = 0$)

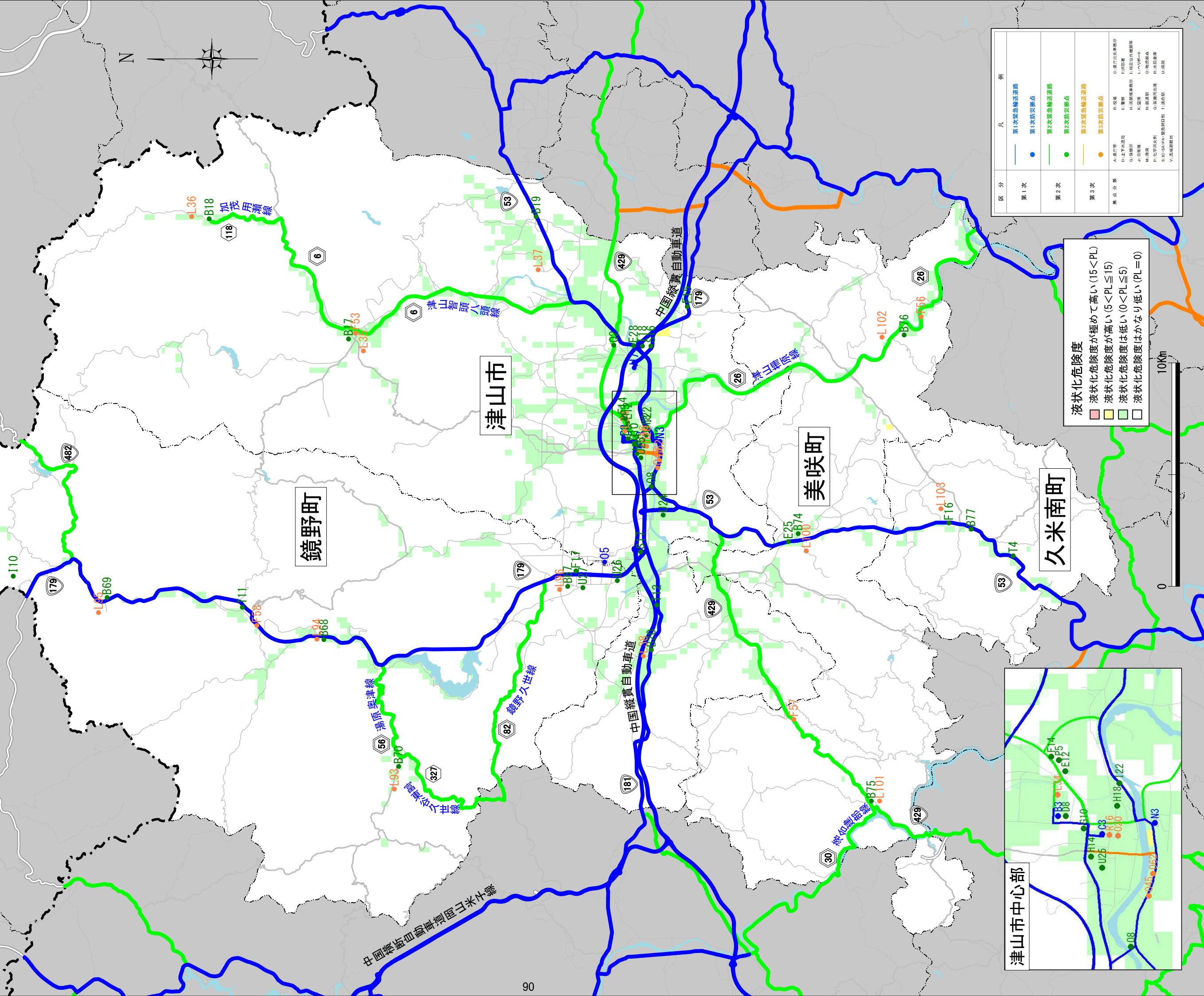


区分	凡例
第1次	第1次緊急輸送道路
	第1次防災拠点
第2次	第2次緊急輸送道路
	第2次防災拠点
第3次	第3次緊急輸送道路
	第3次防災拠点
拠点分類	A: 県庁等 B: 役場 C: 県庁出先事務所 D: 上下水道局 E: 警察 F: 消防署 G: 保健所 H: 国関係事務所 I: 指定公共機関等 J: 自衛隊 K: 空港 L: ヘリポート M: 港湾 N: 鉄道駅 O: 物流拠点 P: 化学消防 Q: 医療用血液 R: 水防倉庫 S: IC・SA・PA・緊急開口部 T: 道の駅 U: 病院 V: 広域避難地

南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【岡山県想定】

美作県民局管内

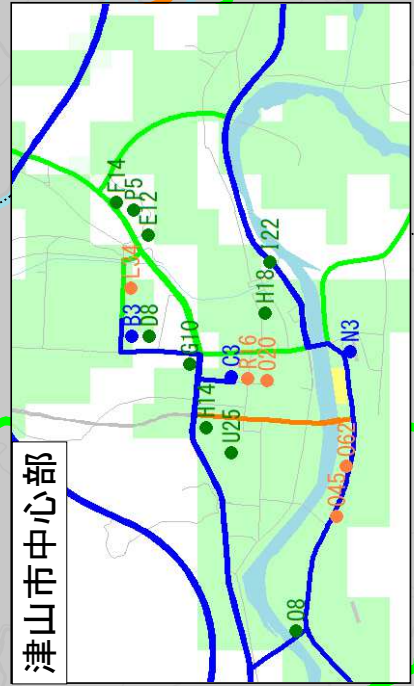
(注) 平成24年8月末に国が公表したデータを基に岡山県が独自に作成した液状化危険度分布図
(平成25年2月15日公表)



液状化危険度

- 液状化危険度が極めて高い (15 < PL)
- 液状化危険度が高い (5 < PL ≤ 15)
- 液状化危険度は低い (0 < PL ≤ 5)
- 液状化危険度はかなり低い (PL = 0)

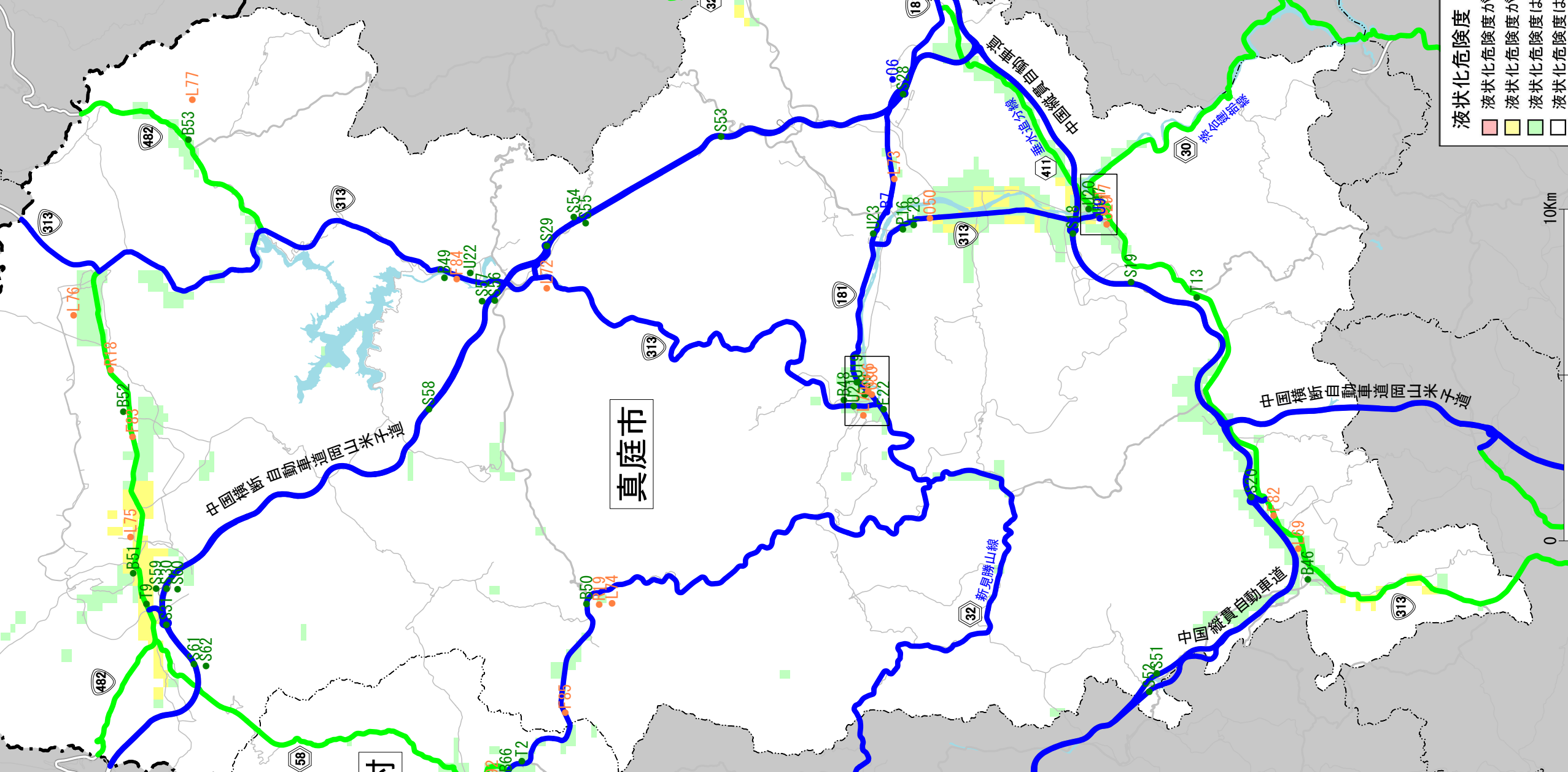
区分	凡例
第1次	第1次緊急輸送道路
	第1次防災拠点
第2次	第2次緊急輸送道路
	第2次防災拠点
第3次	第3次緊急輸送道路
	第3次防災拠点
拠点分類	A: 県庁等 B: 役場 C: 県庁出張事務所 D: 上下水道局 E: 警察 F: 消防 G: 保健所 H: 消防団事務所 I: 消防公共建築等 J: 自衛隊 K: 空港 L: ハコブシ M: 病院 N: 役場 O: 福祉施設 P: 化学工業 Q: 県庁出張所 R: 水防隊 S: 消防団事務所 T: 消防団 U: 消防団 V: 消防団



南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【岡山県想定】

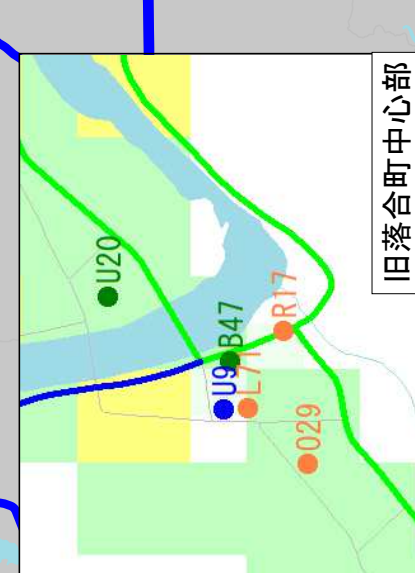
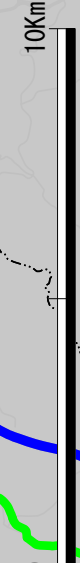
真庭地域事務所管内

(注) 平成24年8月末に国が公表したデータを基に岡山県が独自に作成した液状化危険度分布図(平成25年2月15日公表)



液状化危険度

- 液状化危険度が極めて高い (15 < PL)
- 液状化危険度が高い (5 < PL ≤ 15)
- 液状化危険度は低い (0 < PL ≤ 5)
- 液状化危険度はかなり低い (PL = 0)

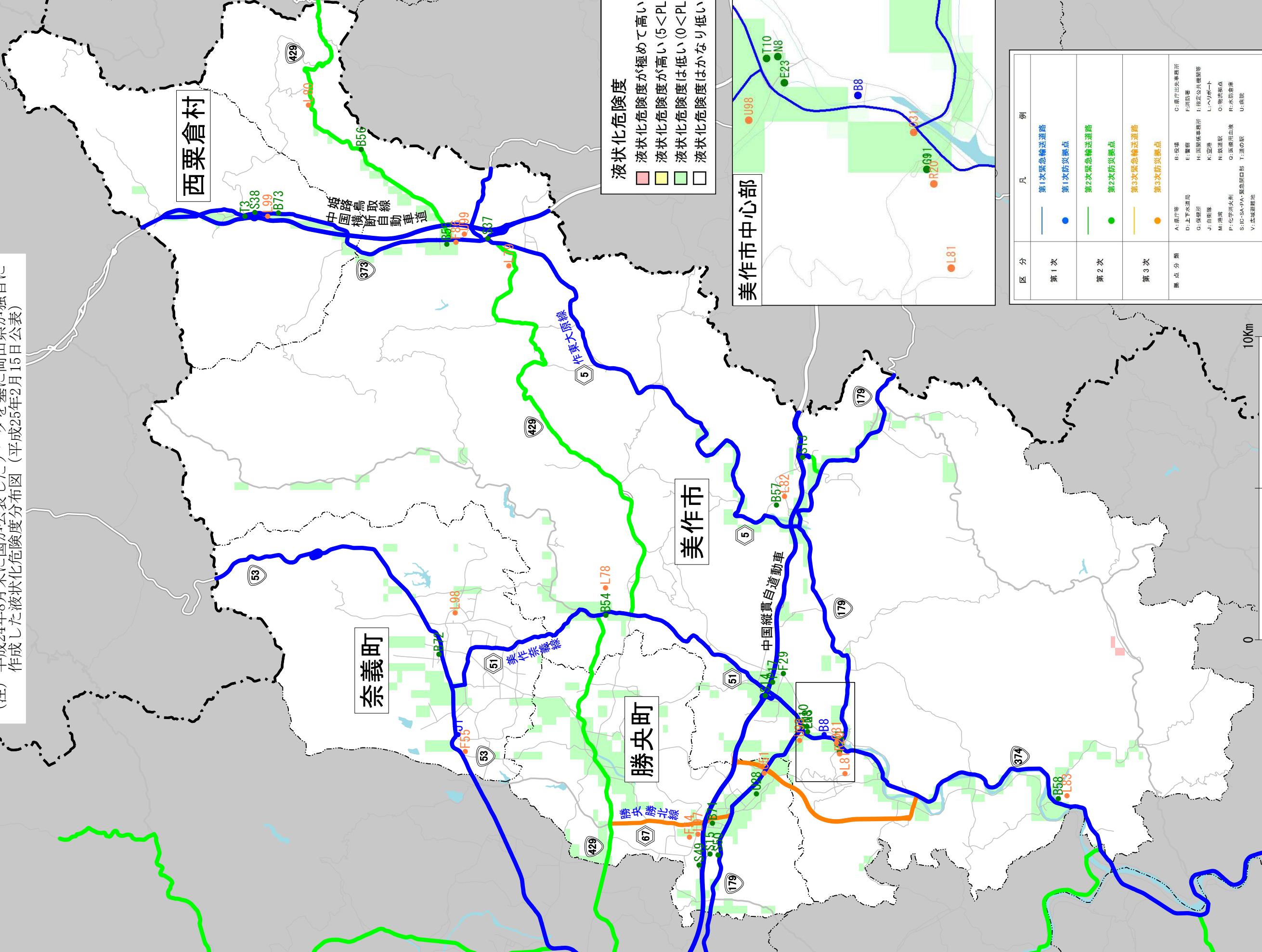
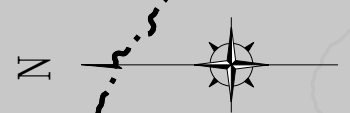


区分	凡例	例
第1次	第1次緊急輸送道路	
第2次	第1次防災拠点	
第3次	第2次緊急輸送道路	
	第2次防災拠点	
	第3次緊急輸送道路	
	第3次防災拠点	
拠点分類	A: 役所等 B: 役場 C: 県庁出張事務所 D: 上下水道局 E: 警察 F: 消防 G: 保健所 H: 国土形成事務所 I: 指定公共機関等 J: 自衛隊 K: 空港 L: A/J所一十 M: 病院 N: 倉庫 O: 地産拠点 P: 化学物火災 Q: 医療用血液 R: 水防倉庫 S: 化学物火災 T: 道の駅 U: 施設 V: 広域避難地	

南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【岡山県想定】

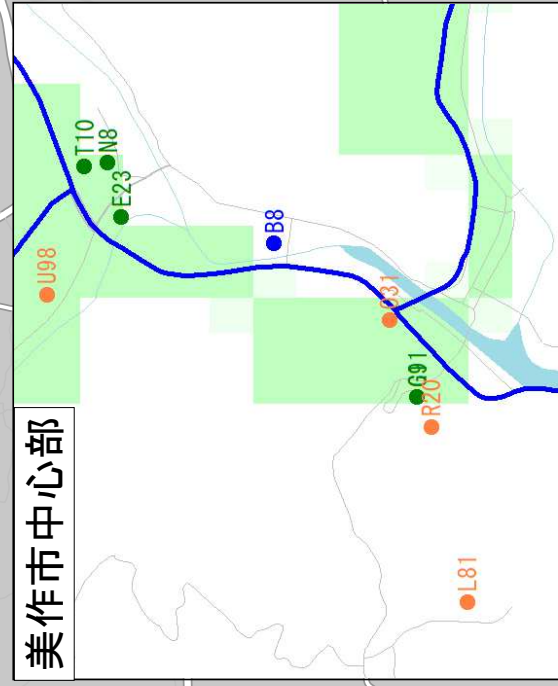
勝英地域事務所管内

(注) 平成24年8月末に国が公表したデータを基に岡山県が独自に作成した液状化危険度分布図（平成25年2月15日公表）



液状化危険度

- 液状化危険度が極めて高い (15 < PL)
- 液状化危険度が高い (5 < PL ≤ 15)
- 液状化危険度は低い (0 < PL ≤ 5)
- 液状化危険度はかなり低い (PL = 0)



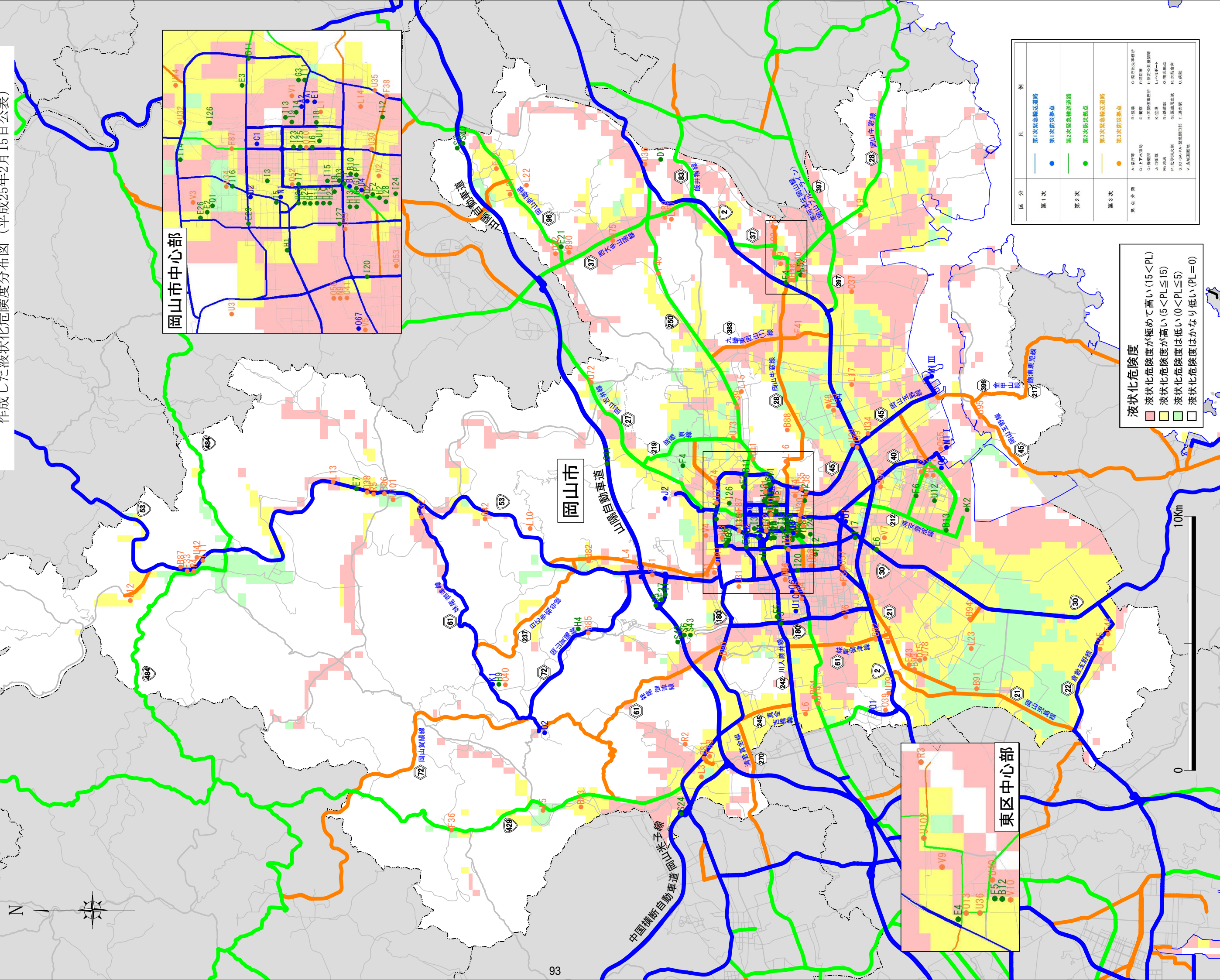
区分	凡例	例
第1次	第1次緊急輸送道路	—
	第1次防災拠点	●
第2次	第2次緊急輸送道路	—
	第2次防災拠点	●
第3次	第3次緊急輸送道路	—
	第3次防災拠点	●
拠点分類		A: 銀行等 B: 役場 C: 県庁出先事務所 D: 上下水道局 E: 警察 F: 消防署 G: 保健所 H: 消防団事務所 I: 消防公共機関等 J: 自衛隊 K: 空港 L: へいけい一 M: 消防 N: 鉄道駅 O: 物流拠点 P: 化学用燃料 Q: 医療用血液 R: 水防倉庫 S: IC-SA-PA-緊急開口部 T: 道の駅 U: 病院 V: 広域避難地



南海トラフ巨大地震による液状化危険度分布図【岡山県想定】

岡山市管内

(注) 平成24年8月末に国が公表したデータを基に岡山県が独自に作成した液状化危険度分布図（平成25年2月15日公表）



液状化危険度

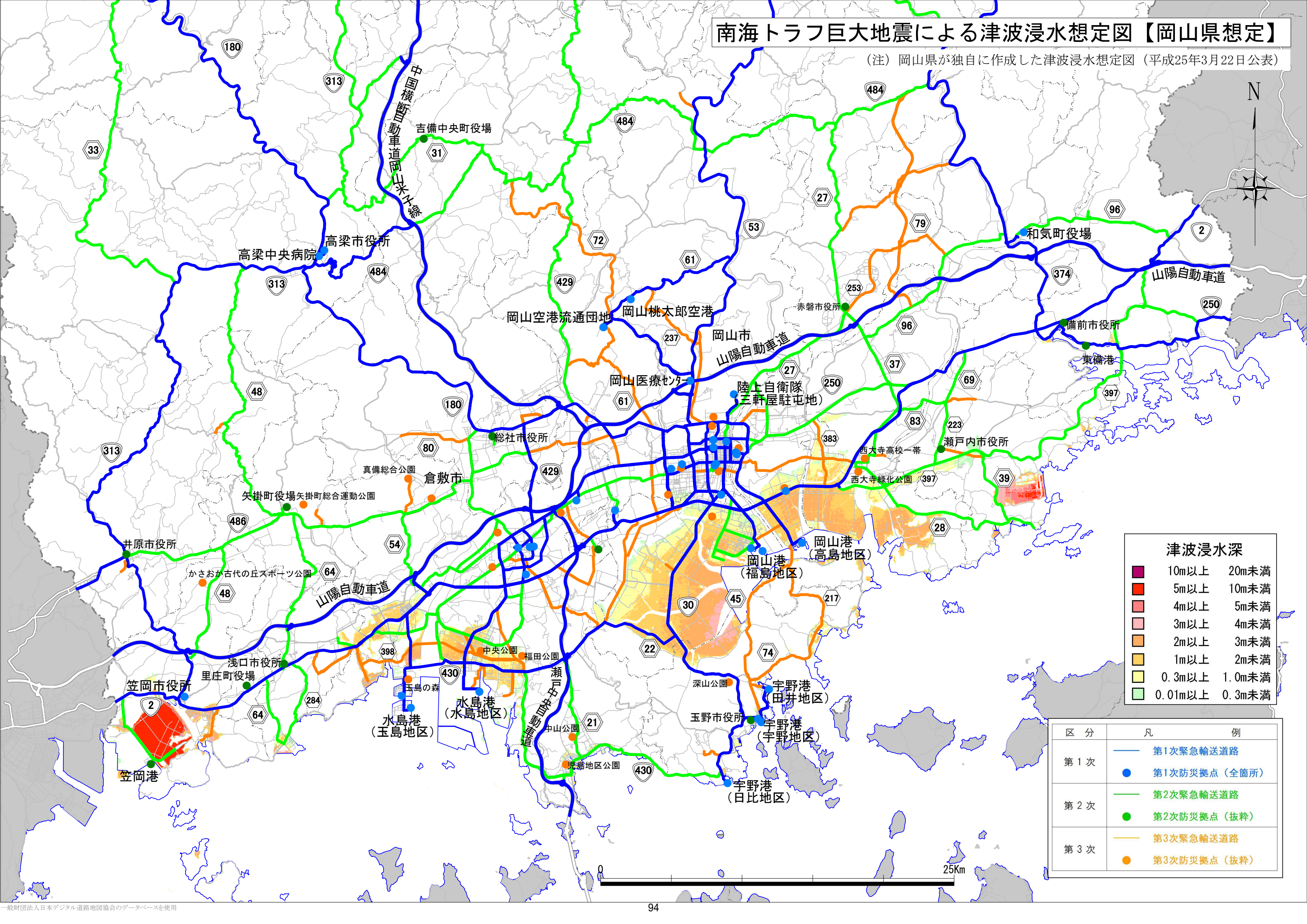
- 液状化危険度が極めて高い (15 < PL)
- 液状化危険度が高い (5 < PL ≤ 15)
- 液状化危険度は低い (0 < PL ≤ 5)
- 液状化危険度はかなり低い (PL = 0)

区分	例
第1次	第1次緊急輸送道路 第1次防災拠点
第2次	第2次緊急輸送道路 第2次防災拠点
第3次	第3次緊急輸送道路 第3次防災拠点

拠点分類	例
A: 国庁等	国庁等
B: 県庁	県庁
C: 市庁舎	市庁舎
D: 上下水道局	上下水道局
E: 消防署	消防署
F: 消防団	消防団
G: 消防出張事務所	消防出張事務所
H: 消防団事務所	消防団事務所
I: 消防団事務所	消防団事務所
J: 消防団事務所	消防団事務所
K: 消防団事務所	消防団事務所
L: 消防団事務所	消防団事務所
M: 消防団事務所	消防団事務所
N: 消防団事務所	消防団事務所
O: 消防団事務所	消防団事務所
P: 消防団事務所	消防団事務所
Q: 消防団事務所	消防団事務所
R: 消防団事務所	消防団事務所
S: 消防団事務所	消防団事務所
T: 消防団事務所	消防団事務所
U: 消防団事務所	消防団事務所
V: 消防団事務所	消防団事務所

南海トラフ巨大地震による津波浸水想定図【岡山県想定】

(注) 岡山県が独自に作成した津波浸水想定図 (平成25年3月22日公表)



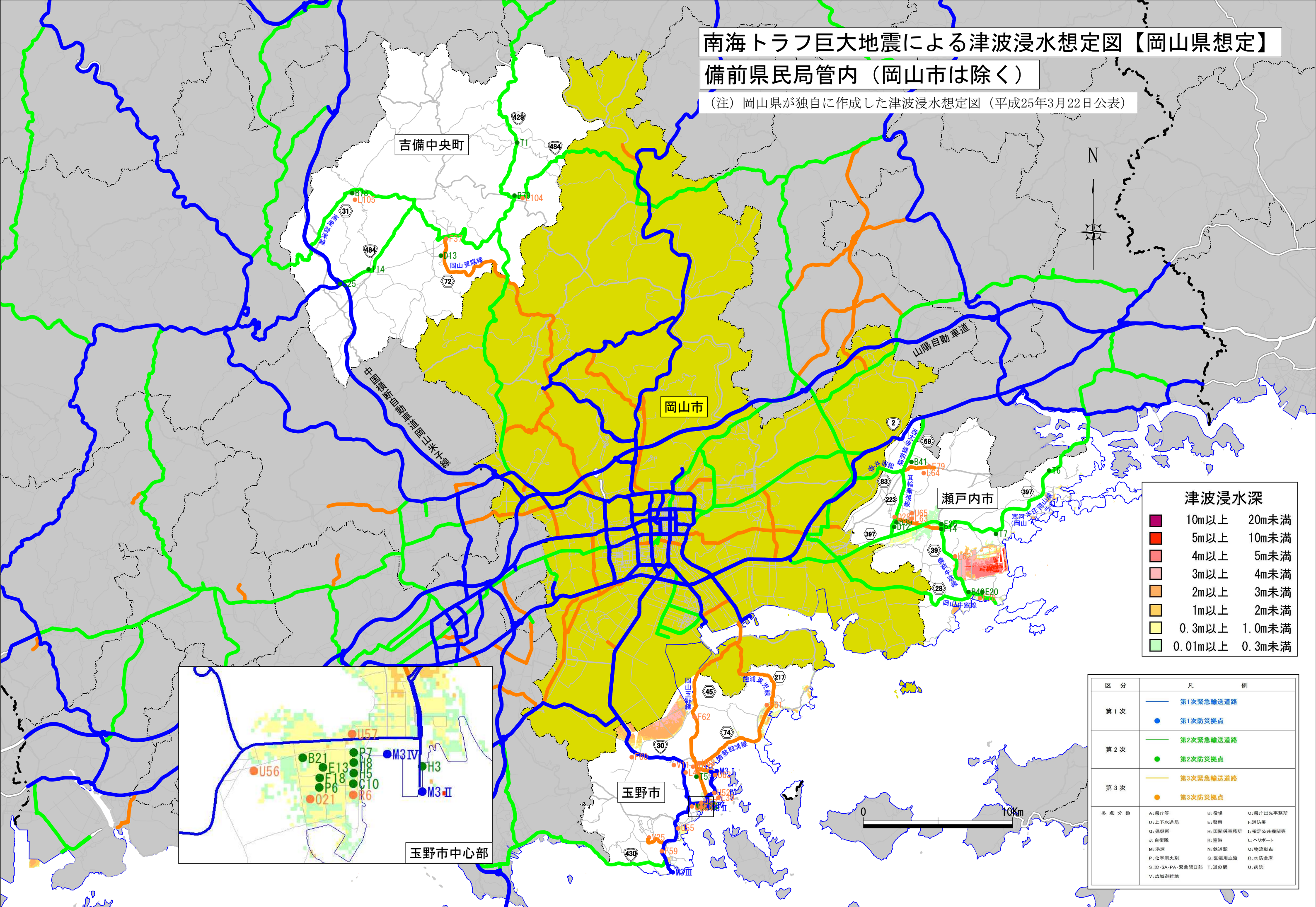
■	10m以上	20m未満
■	5m以上	10m未満
■	4m以上	5m未満
■	3m以上	4m未満
■	2m以上	3m未満
■	1m以上	2m未満
■	0.3m以上	1.0m未満
■	0.01m以上	0.3m未満

区分	凡	例
第1次	—	第1次緊急輸送道路
	●	第1次防災拠点 (全箇所)
第2次	—	第2次緊急輸送道路
	●	第2次防災拠点 (抜粋)
第3次	—	第3次緊急輸送道路
	●	第3次防災拠点 (抜粋)

南海トラフ巨大地震による津波浸水想定図【岡山県想定】

備前県民局管内（岡山市は除く）

（注）岡山県が独自に作成した津波浸水想定図（平成25年3月22日公表）



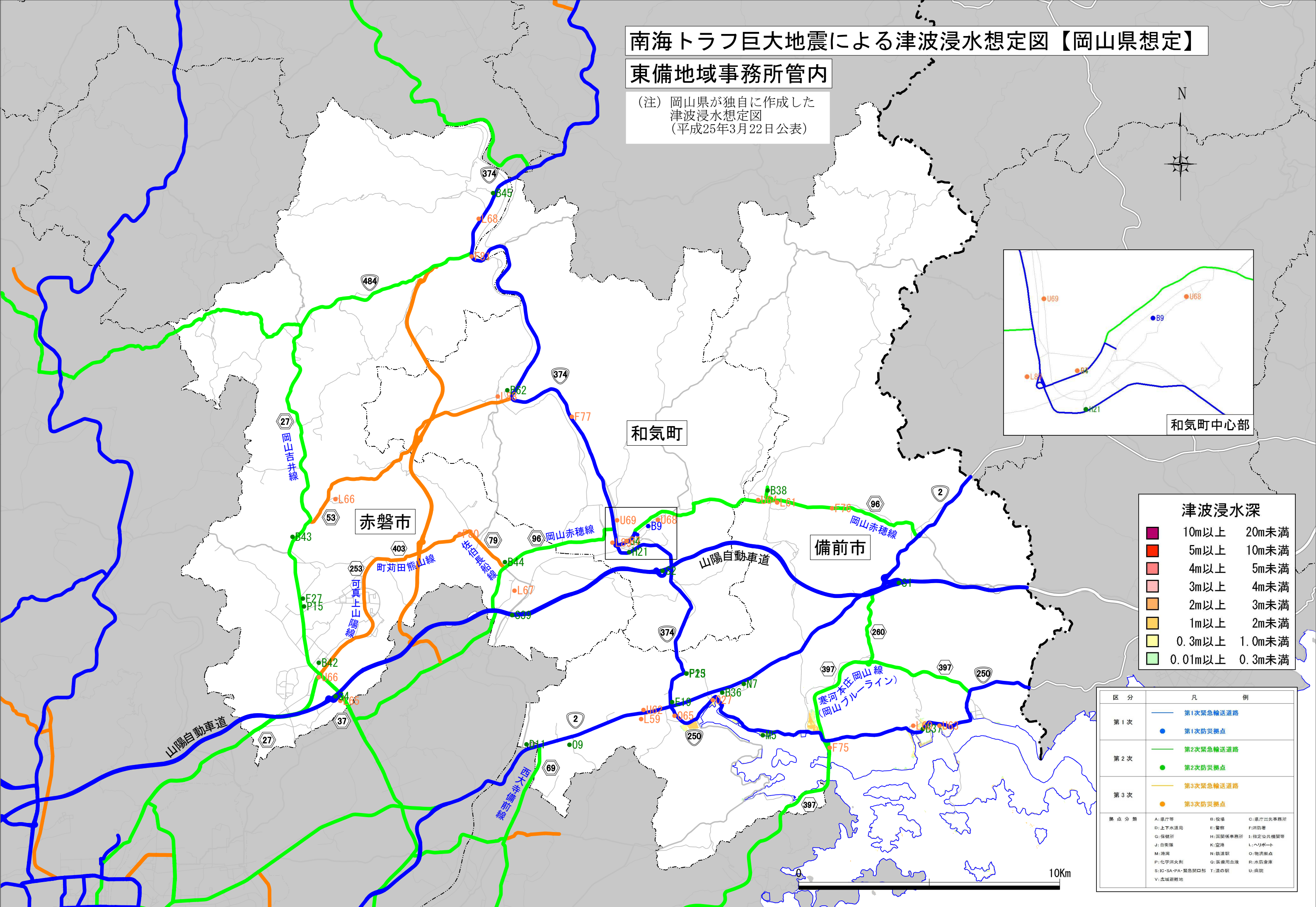
■	10m以上	20m未満
■	5m以上	10m未満
■	4m以上	5m未満
■	3m以上	4m未満
■	2m以上	3m未満
■	1m以上	2m未満
■	0.3m以上	1.0m未満
■	0.01m以上	0.3m未満

区分	凡	例	
第1次	—	第1次緊急輸送道路	
	●	第1次防災拠点	
第2次	—	第2次緊急輸送道路	
	●	第2次防災拠点	
第3次	—	第3次緊急輸送道路	
	●	第3次防災拠点	
拠点分類	A: 県庁等	B: 役場	C: 県庁出先事務所
	D: 上下水道局	E: 警察	F: 消防署
	G: 保健所	H: 国関係事務所	I: 指定公共機関等
	J: 自衛隊	K: 空港	L: ヘルポート
	M: 港湾	N: 鉄道駅	O: 物流拠点
	P: 化学用火災	Q: 医療用血液	R: 水防倉庫
	S: IC-SA-PA-緊急開口部	T: 道の駅	U: 病院
	V: 広域避難地		

南海トラフ巨大地震による津波浸水想定図【岡山県想定】

東備地域事務所管内

(注) 岡山県が独自に作成した津波浸水想定図
(平成25年3月22日公表)



津波浸水深

■ 10m以上	■ 20m未満
■ 5m以上	■ 10m未満
■ 4m以上	■ 5m未満
■ 3m以上	■ 4m未満
■ 2m以上	■ 3m未満
■ 1m以上	■ 2m未満
■ 0.3m以上	■ 1.0m未満
■ 0.01m以上	■ 0.3m未満

区分	凡例
第1次	— 第1次緊急輸送道路
	● 第1次防災拠点
第2次	— 第2次緊急輸送道路
	● 第2次防災拠点
第3次	— 第3次緊急輸送道路
	● 第3次防災拠点

拠点分類	A: 県庁等	B: 役場	C: 県庁出先事務所
	D: 上下水道局	E: 警察	F: 消防署
	G: 保健所	H: 国関係事務所	I: 指定公共機関等
	J: 自衛隊	K: 空港	L: へいそーと
	M: 港湾	N: 鉄道駅	O: 物流拠点
	P: 化学汚火災	Q: 医療用血液	R: 水防倉庫
	S: 10・SA・PA・緊急開口部	T: 道の駅	U: 病院
	V: 広域避難地		

10Km

南海トラフ巨大地震による津波浸水想定図【岡山県想定】

備中県民局管内

(注) 岡山県が独自に作成した津波浸水想定図
(平成25年3月22日公表)



中国鐵道西船渠環状線
水島港船渠線
倉敷西環状線
倉敷東環状線
倉敷西環状線
倉敷東環状線
倉敷西環状線
倉敷東環状線

総社市

早島町

倉敷市

津波浸水深

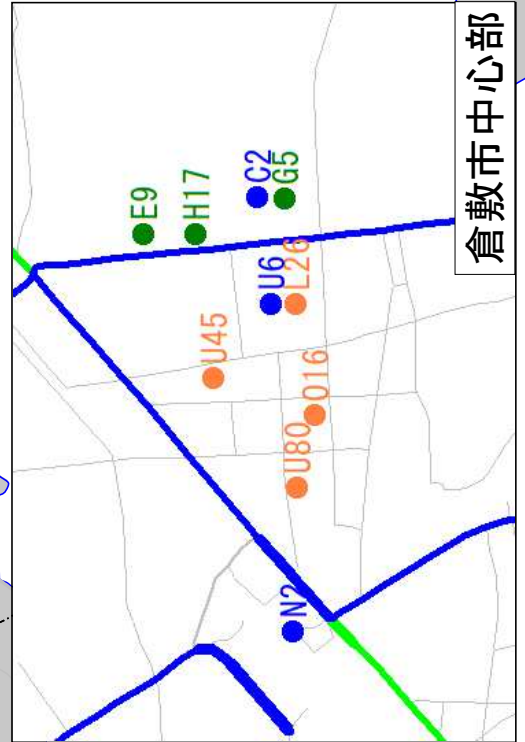
10m以上	20m未満
5m以上	10m未満
4m以上	5m未満
3m以上	4m未満
2m以上	3m未満
1m以上	2m未満
0.3m以上	1.0m未満
0.01m以上	0.3m未満

凡例

区分	例
第1次	第1次緊急輸送道路 (Blue line), 第1次防災拠点 (Blue dot)
第2次	第2次緊急輸送道路 (Green line), 第2次防災拠点 (Green dot)
第3次	第3次緊急輸送道路 (Orange line), 第3次防災拠点 (Orange dot)

拠点分類

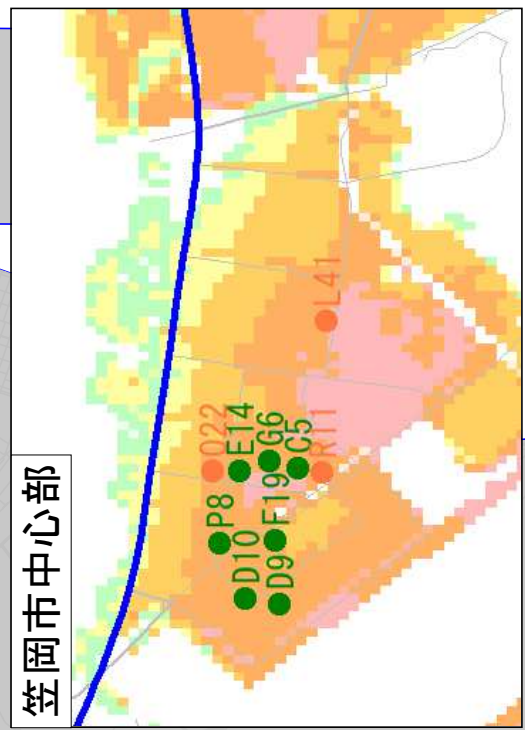
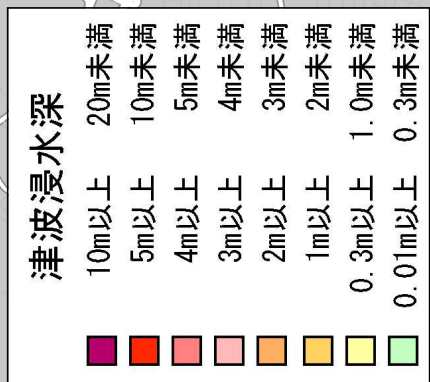
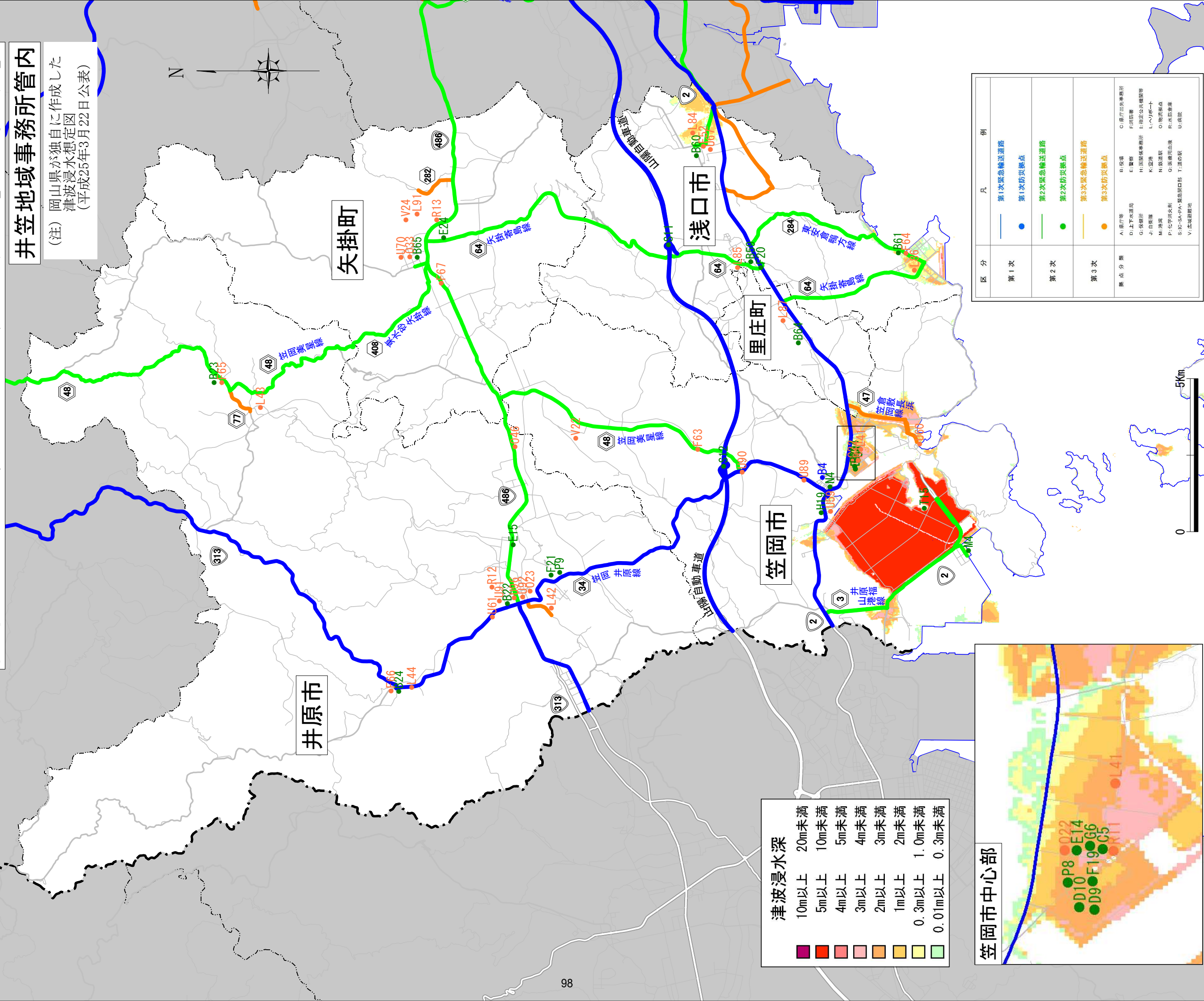
A: 銀行等	B: 診療所	C: 銀行出張事務所
D: 上下水道局	E: 警察署	F: 消防署
G: 保健所	H: 国土院事務所	I: 消防公共機関等
J: 自衛隊	K: 空港	L: レジャー
M: 港	N: 駅	O: 物資拠点
P: 化学用火災	Q: 医療用医薬	R: 水防倉庫
S: IC-S&PA: 緊急自動車	T: 道の駅	U: 病院
V: 広域避難地		



南海トラフ巨大地震による津波浸水想定図【岡山県想定】

井笠地域事務所管内

(注) 岡山県が独自に作成した津波浸水想定図
(平成25年3月22日公表)



区分	凡 例
第1次	第1次緊急輸送道路
	第1次防災拠点
第2次	第2次緊急輸送道路
	第2次防災拠点
第3次	第3次緊急輸送道路
	第3次防災拠点
拠点分類	A: 居住等 B: 役場 C: 倉庫 D: 上下水道局 E: 警察 F: 消防署 G: 保健所 H: 国民健康保険所 I: 指定公共機関等 J: 公民館 K: 空港 L: ヘルパーセンター M: 病院 N: 福祉センター O: 防災拠点 P: 化学用水利 Q: 産業用水利 R: 水防倉庫 S: IC-SA-PA: 緊急開口部 T: 道の駅 U: 病院 V: 広域避難地

